

■5月9日

春秋航空日本(LCC)、国内3路線開設を検討

春秋航空は8日、国内線参入に向け昨年設立した春秋航空日本が、近く航空運送事業の認可を国土交通省に申請すると発表した。

春秋航空日本は成田を拠点として、広島、高松、熊本を目的地とする3路線を検討しており、航空機リース会社のAWASが4月30日に、春秋航空日本へボーイング737-800をデリバリーしたことも発表している。

今回日本法人が参入する国内線は、中国人観光客の日本国内での移動手段と位置付ける。

日本法人である春秋航空日本は昨年10月に設立し、今年秋に国内線定期便を就航する計画で、現在のスタッフ数は80名。更にHP上では様々な職種での募集を行っている。また、資本金は15億円で、申請後60億円まで増資していく予定だ。

(産経ニュース)5/8

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130508/biz13050812320011-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130508/biz13050812320011-n1.htm>)

(トラベルビジョン)5/8

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57491> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57491>)

(時事ドットコム)5/8

http://www.jiji.com/jc/c?g=ind_30&k=2013050800778 (-> http://www.jiji.com/jc/c?g=ind_30&k=2013050800778)

(Flyteam)5/2

[AWAS - AWAS delivers first new 737 - 800 passenger aircraft to Spring Airlines Japan \(->](#)

<http://www.awas.com/Portals/0/SpringInDellalt-PR-V1.pdf>)

(春秋航空日本HP)

<http://www.china-sss.com/JP/Job/JobList> (-> <http://www.china-sss.com/JP/Job/JobList>)

春秋航空(LCC)、日本路線の拡大を計画

春秋グループ日本代表の王煒氏は8日に開催した記者会見で、「日本市場は弊社の中で大きな位置づけとしている」とし、尖閣問題後も経営判断により日本路線を維持継続したことを強調。今後1年から2年かけて、既存の日本3路線を増便すると共に、新路線を就航する計画を発表した。トラベルビジョンが報じた。

具体的には既存の上海—茨城、高松、佐賀線を増便するとともに、上海—関空線を開設。このほか、上海を拠点とした日本の地方路線と、関空を拠点とした中国地方路線も合わせて7路線開設する計画だ。

(トラベルビジョン)5/8

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57491> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57491>)

スターフライヤー、13年度3月期経常利益85.1%下方修正

スターフライヤーは8日、平成25年3月期の業績修正を発表した。13年3月期の経常利益(非連結)を従来予想の3億1600万円→4700万円(前の期は9億8600万円)に85.1%下方修正し、減益率が68.0%減→95.2%減に拡大する見通しとなった。

修正理由として、北九州—羽田線および福岡—羽田線の、航空各社間における競争環境の激化等により、当初計画を下回る旅客数で推移したこと、7月から就航した北九州—釜山線においては、国際情勢等による旅客需要減少の影響および認知度不足により、当初計画を下回る旅客数で推移したこと。加えて、費用面においては、急激な円安に伴い航空燃料費や航空機材費などの事業費が増加したことを挙げた。

(スターフライヤー プレスリリース)5/8

<http://contents.xj-storage.jp/contents/92060/T/PDF-GENERAL/140120130508033810.pdf> (-> <http://contents.xj-storage.jp/contents/92060/T/PDF-GENERAL/140120130508033810.pdf>)

(Kabutan)5/8

<http://kabutan.jp/news/?b=k201305080157> (-> <http://kabutan.jp/news/?b=k201305080157>)

キャセイパシフィック航空、繁忙期に日本路線を増便計画

キャセイパシフィック航空の朱最高執行責任者(COO)は8日、年次株主総会後の記者会見で、今年の旅客業務は順調に推移しており、控えめながらも楽観していると明らかにした。円安による需要拡大を好機とみて、日本便を増便する予定。一方、貨物業務はなお不調としている。官営放送RTHKなどが同日伝えた。

NNAASIAによると、朱COOは、香港と日本、また東南アジアと日本を香港経由で結ぶ路線は今年に入って乗客数が2桁成長を続けていると説明。これを受け、繁忙期に向けて日本便の増便を計画中と述べた。

(NNA ASIA)5/9

<http://news.nna.jp/free/news/20130509hkd003A.html> (-> <http://news.nna.jp/free/news/20130509hkd003A.html>)

小松空港、2012年度利用者数、前年度比18万人増—約217万人

石川県がまとめた小松空港の2012年度の利用者数(速報値)は前年度比約18万人増の217万2783人となった。利用者数が前年度を上回るのは6年ぶり。

国内線利用者は202万1645人。4年ぶりに200万人を超え、那覇便を除く全路線で増加した。国内線利用者の約8割を占める羽田便は、前年度比8%増の166万9447人だった。

一方、国際線は台北便増便の効果で前年度から約3万1千人増え、過去最高の15万1138人を記録した。12年9月に週5便、同12月に毎日運航となった台北便は同81%増の6万4212人が利用した。搭乗率72.9%は週4便のソウル便の同69.8%、上海便の同63.1%を上回った。

(福井新聞)5/9

<http://www.fukuishimbun.co.jp/localnews/economics/42361.html> (->

<http://www.fukuishimbun.co.jp/localnews/economics/42361.html>)

日本空港ビル、2015年度までの中期計画発表

日本空港ビルデングは8日、2013~2015年度の中期計画を発表した。中計計画では、2014年3月末に増枠が予定されている羽田空港国際線への対応を重要課題の中心に据えるとともに、環境変化に伴い新たな空港運営の構築に取り組んでいく。

今後3年間の投資計画では、羽田国際化への対応で15億円、既存施設の維持等で100億円、商業施設の再配置や施設価値の向上として90億円—など合計260億円を見込む。

また、羽田空港の国際線年間需要は、年間3万回の発着枠増枠によって2014年度以降は1,270万人~1,280万人と2012年度比1.6倍程度の拡大を想定した。

(日刊航空)5/9

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

(日本空港ビル プレスリリース)5/8

http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/files/whats_new/450_0508_1011.pdf (-> http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/files/whats_new/450_0508_1011.pdf)

仁川空港、米国便、搭乗ロケットでの保安検査廃止の見通し

(yonhapnewsによると)

韓国国土交通部の高官は8日、仁川国際空港で米国便の乗客に対し搭乗ロケットで実施されている保安検査が早ければ年内に廃止される見通しであると明らかにした。

同高官によると米国と基本的に合意に達しており、検査機器を設置する代わりに搭乗ロケットでの検査は廃止する方向で調整が進められているという。米運輸安全局(TSA)の韓国担当官も7日に聯合ニュースの取材に対し、搭乗ロケットで

の検査を廃止する方針を明らかにしている。

(yonhapnews) 5/8

<http://japanese.yonhapnews.co.kr/society/2013/05/08/0800000000AJP20130508002200882.HTML> (->
<http://japanese.yonhapnews.co.kr/society/2013/05/08/0800000000AJP20130508002200882.HTML>)

中国国際航空、取締役会—エアバス100機購入承認

中国国際航空(エアチャイナ)の取締役会は、エアバスから航空機100機を購入する計画を承認した。購入総額はカタログ価格に基づくと91億5000万ドル(約9000億円)。これにより、輸送能力を拡大させる。

(WSJ) 5/8

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323605404578470251769837198.html> (->
<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887323605404578470251769837198.html>)

チャンギ空港、航空会社別旅客取扱数、5位にエアアジア(LCC)

空港運営会社、チャンギ・エアポート・グループ(CAG)が7日、航空賞の授与式で発表した、同空港における、航空会社別旅客取扱数は、1位シンガポール航空、2位タイガー・エアウェイズ、3位SIA域内部門子会社のシルクエア、4位ジェットスター・アジアで前年と同じとなった。

マレーシアのエア・アジアが2つランクを上げ5位に食い込んだ。

尚、チャンギ空港を昨年利用した旅客は5,120万人で、前年より10%増加した。

(ASIA) 5/8

<http://www.asiax.biz/news/2013/05/08-122207.php> (-> <http://www.asiax.biz/news/2013/05/08-122207.php>)

エティハド航空、ジェットエアウェイズの株式24%取得で合意

エティハド航空とインドのジェットエアウェイズはさきごろ、EYが9Wの株式の24%を取得することで合意した。新規株式約2726万株を3億7900万米ドルで取得する。また、EYは今後6ヶ月内に1億5000万米ドルで9Wのフリークエントフライヤープログラム「Jet Privilege」の株式の大多数を取得する予定だ。

これによりエティハド航空はインド市場への参入、ジェットエアウェイズは欧米、アフリカ、中東へのゲートウェイ確立を実現し、コードシェアの拡大や2社合計で140都市への就航などにより収入増加とコスト削減をめざす。

(トラベルビジョン) 5/8

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57487> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=57487>)

デルタ航空、3年間で約10億ドル、株主に還元

デルタ航空は5億ドル(約490億円)相当の自社株買いと10年ぶりの配当再開を計画している。

デルタの配当支払いは2003年以来、株式買い戻しは2000年以来で初めてとなる。bloombergが報じた。

8日のデルタ発表によれば、両プログラムを合わせると今後3年間で約10億ドルが株主に還元される。1株当たり6セントの四半期配当は8月9日時点の株主に対し、9月10日に支払われるという。

(bloomberg) 5/9

<http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MMHG3N6VDKHU01.html> (-> <http://www.bloomberg.co.jp/news/123-MMHG3N6VDKHU01.html>)

ボーイング787対応：ユナイテッド航空、商業運航再開20日に繰り上げ

(47newsによると)

ユナイテッド航空は8日、バッテリーの重大トラブルで運航停止となっていたボーイングの最新鋭機787の運航再開時期を5月末から5月20日に繰り上げると明らかにした。運航停止命令の解除前に再開日を設定していたが、安全性が

確認されたことで前倒しが可能と判断した。

ヒューストンからシカゴを結ぶ米国内線で運航を再開する。6月10日の成田—デンバー線としている国際線での再開予定は変更しない。

<http://www.47news.jp/CN/201305/CN2013050901000742.html> (->

<http://www.47news.jp/CN/201305/CN2013050901000742.html>)

ボーイング787関連：NTSB、バッテリーのX線検査を実施

(ロイターによると)

米運輸安全委員会(NTSB)は、ボーイングの787型機(ドリームライナー)に搭載されるリチウムイオンバッテリーのX線検査を週内に始める計画であることを明らかにした。

過熱や発火の原因特定に役立つほか、問題再発の防止が目的。

運航再開の日程に影響は出ない見通し。

NTSBは「将来、同様の種類の航空機向けバッテリーに絡む事故の発生を回避すること」を目的に、最大6個のバッテリーのX線検査を実施すると説明した。

NTSB報道官は今回の検査について、進められているバッテリー問題の調査に緊急事態が発生したわけでも、変更があったわけでもないとした。

(ロイター)5/9

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTYE94706320130508> (->

<http://jp.reuters.com/article/businessNews/idJPTYE94706320130508>)

ボーイング787関連：インド航空当局、商業運航再開を認可

インドの航空当局は7日、エア・インディアによる米ボーイングの旅客機787型「ドリームライナー」の商業運航の再開を認める判断を下した。旗艦航空会社は安全性をめぐる懸念から4カ月近くにわたり同型機の運航を停止していた。

(WSJ)5/8

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324826304578470051830513408.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324826304578470051830513408.html>)